

前科による資格制限の在り方の検討のためのニーズ調査の結果(概要)①

表1：全体（少年・支援者）の回答総数

※少年：少年院在院者及び保護観察処分少年

※支援者：法務教官，保護観察官及び更生保護就労支援事業所職員

順位	資格名	総数
1	危険物取扱者	181
2	警備員	164
3	介護福祉士	97
4	電気工事士	71
5	宅地建物取引士	70
6	調理師	61
7	看護師	48
8	建築士	35
9	保育士	19
10	会社役員	16
〃	社会福祉士	16

表2：少年の回答総数及び内訳

順位	資格名	少年院在院中に取得した資格	これまでに取得した資格	取りたい資格	働いてみたい仕事	就労に有利と思う資格	資格がないことで就労に支障があったもの	職歴	計
1	危険物取扱者	56	4	18		6			84
2	建築士			21	2	6			29
3	調理師		1	20		4			25
4	介護福祉士			15		4			19
5	電気工事士	3		10		4			17
6	宅地建物取引士		1	11		3			15
〃	看護師			7	5	3			15
〃	保育士			8	5	1	1		15
10	教育職員免許			9	1				10
〃	医師			4	3	3			10

前科による資格制限の在り方の検討のためのニーズ調査の結果(概要)②

表3：支援者の回答総数及び内訳

順位	資格名	資格制限等により 就労に支障 が生じたもの	実際に 就労に有利に作用 した資格	就労に有用 と考える資格	改善更生に資する と考える資格	計
1	警備員	148	1	6	6	161
2	危険物取扱者	1	44	21	31	97
3	介護福祉士	25	7	31	15	78
4	宅地建物取引士	32	3	15	5	55
5	電気工事士	2	27	16	9	54
6	調理師	3	19	9	5	36
7	看護師	14	14	2	3	33
8	古物商	13		1	1	15
9	会社役員	12	1			13
10	社会福祉士	4		5		9

表4：支障が生じた場面の分類（支援者）

順位	資格名	就労断念	復職困難	就労継続の 支障	解雇・退職	分類困難・ その他	記載なし	計
1	警備員	79	18		34	16	1	148
2	宅地建物取引士	9	2	12		9		32
3	介護福祉士		4	12		7	2	25
4	看護師	2	6		1	5		14
5	古物商	8	3			2		13
6	会社役員	2	3	4	1	2		12
7	保険募集人	1	1	1	1		1	5
8	建築士	1	3					4
〃	社会福祉士			4				4
〃	理学療法士		3		1			4